

UNHCR 駐日事務所

〒107-0062
東京都港区
南青山6-10-11
ウェスレーセンター
Tel 03-3499-2011
Fax 03-3499-2272
www.unhcr.org/jp/

東京

2017年11月17日

MIYAVI、UNHCR 親善大使に就任

UNHCR は、日本人初となる UNHCR 親善大使にミュージシャンの MIYAVI を任命することを発表しました。

MIYAVI は三味線やベースの演奏方法を参考にした「スラップ奏法」をはじめとした独自の表現方法を確立し、“サムライギタリスト”として、世界から高い評価を受けています。

UNHCR との出会いのきっかけは、アンジェリーナ・ジョリーUNHCR 特使が監督を務めた『Unbroken（邦題：不屈の男 アンブローケン）』（2014年、アメリカ）への出演。ジョリー特使との交流を通じて難民の現状やUNHCRの活動に関心を抱き、「自分にできることは何か」を考えるようになったといいます。そうして生まれたのが、難民問題の解決への思いを込めた楽曲「The Others」です。

2015年5月には「The Others」を携えてレバノンを訪問し、初めて難民キャンプの過酷な現状に直面しながらも、ギターを片手に難民や現地の子もたちと音楽を通じた交流を行いました。その時の様子は、アンジェリーナ・ジョリーと MIYAVI がディレクションしたミュージックビデオに盛り込まれ、大きな反響を呼びました。

アンジェリーナ・ジョリー特使からは、「MIYAVI はこれまで難民問題に深くかかわり、難民の方々に思いやりと理解を示し、音楽という素晴らしい贈り物を届けてくれました。MIYAVI が彼らとふれあい、音楽という表現方法で自身の情熱を共有している姿はとても感動的です。私にとっても今回の UNHCR 親善大使就任はとてもうれしく、これから一緒に活動するのが楽しみです」とのメッセージが寄せられました。

2016年にはレバノンを再訪し、さらにはタイのミャンマー難民キャンプを訪問するなどして難民問題への知識を深め、自身の SNS などを通じて難民の子もたちへの教育の意義などを積極的に発信を続けてきました。そうした活動の功績と今後の貢献への期待から、UNHCR 親善大使の就任に至りました。

今回の任命を受けて、MIYAVI は「この世に生きる誰もが、希望を抱き、笑顔でいられる人生をおくる権利があるはずだと信じています。それを実現するために音楽を通じてできることがあるとすれば、それが僕の役割です。僕もまだまだ勉強中の身です。皆さんと一緒に学びながら、共に何ができるのかを考え、チャレンジしていければ幸いです」と決意を語っています。

「UNHCR の活動にアーティストが参画することになり、大変うれしく思っています。MIYAVI のギターや歌を通じて、日本の特に若い世代が、難民問題に関心を持つきっかけが増えれば」と UNHCR 駐日事務所のダーク・ヘベカー代表も MIYAVI の親善大使就任を歓迎し、期待を寄せています。

MIYAVI の UNHCR 親善大使就任は、11月20日（月）に日本記者クラブで行われるフィリッポ・グランディ高等弁務官来日の記者会見で正式に発表される予定です。

UNHCR 親善大使 MIYAVI のページ（英語）もあわせてご覧ください。

<http://www.unhcr.org/miyavi.html>

<本件に関するお問い合わせ>

UNHCR 駐日事務所 広報官 守屋 03-3499-2042 moriya@unhcr.org